

民意を反映する選挙制度実現 比例定数削減反対！**運動情報**

憲法会議 発行

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ <http://www.kenpoukaigi.gr.jp>

【憲法しんぶん速報版】

2013年3月7日

第383号 Tel 03-3261-9007
本号2号 Fax 03-3261-5453

衆議院憲法審査会 14日開催へ

衆議院憲法審査会は3月7日の幹事懇で、3月14日（木）9時から12時の日程で開催することを決めました。

テーマは「日本国憲法第1章、第2章の検証・レビュー」。昨年末の総選挙の結果、新しい委員への入れ替わりもあり、昨年までの「検証」を復習するというもの。冒頭、事務局からの報告（20分）があり、その後各党5分ずつの発言、そののち、自由討論という内容です。

13日（水）12時30分からは参議院憲法審査会が開催されます。

注視と傍聴を

憲法審査会が改憲勢力の宣伝の場にさせないように、注視が必要です。憲法会議は他の団体とともに傍聴を呼びかけています。

傍聴ご希望の方は、13日（水）午後5時までに憲法会議に氏名、職業をお知らせください。

小選挙区制廃止、民意が届く選挙制度を！！

3・6 院内集会&議員要請

「小選挙区制やっぱり廃止！！国民の声が届く選挙制度の実現を！比例定数削減反対！新人議員総当り」をかかげて「3・6 院内集会&議員要請」を開催。呼びかけは、自由法曹団、新日本婦人の会、全学連、全商連、全日本民医連、全労連、東京地評、農民連、婦人民主クラブ、民主青年同盟、憲法会議の11団体。代表ら41人が参加しました。

集会では、穀田恵二日本共産党国会対策委員長が、総選挙の結果変化した政党配置のもとで、民主党が唯一政策として維持している比例定数削減をかかげるなか、自民党・細田氏が独自案を出していること、解散にあたっての3党合意では「抜本的な見直しについて検討を行い、次期通常国会終了までに結論を得た上で必要な法改正を」としていたこと、細田案をうけ比例定数削減に難色を示す公明党、定数削減をかかげているみんなの党が代表質問で選挙制度にふれなかったことなどを紹介、複雑な状況であるが簡単に進むというわけではないことを冷静にみることを大事であることを強調しました。さらに、一喜一憂しないで、今こそ民意反映の選挙制度実現を要求して運動を進めようと呼びかけ、選挙制度見直しを求める世論が圧倒的多数であることを時事通信、「信濃毎日」の世論調査で示し、世論と運動を広げると共に、“虚構の多数”として国会議員になった新人議員にも働きかけることの重要性を強調しました。

高橋信一全労連副議長が基調報告、都教祖、婦人民主クラブ、自由法曹団、全労連、新日本婦人の会、民青同盟の代表が発言。議員要請では新人議員約100人に働きかけました。